



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「肌身離さずに」

たまたま二人の歴史的人物が、その生涯において肌身離さずに持っていた大事な宝の話に出くわした。そうさせたものは一体何なのかを診てみよう。

徳川一門で親藩、会津藩主・松平容保は一八六二年に京都守護職に就任する。しかし、容保がこの悲壮な決意をした時、君臣は声を放って泣いたという。それは藩の滅びを意味した。京都は他藩列強と一戦を交えねばならない地であったからだ。その年十二月に藩兵千人を率いて京都に入り、容保は京都守護職を忠実に実行した。それに対して孝明天皇から彼の働きを賞賛する宸翰(天皇直筆の手紙)と御製(天皇の和歌)を内密に下賜された。容保はそれらを小さな二十センチ程の竹筒に入れて首にかけ、死ぬまで手放すことはなかった。

先日、千利休の「利休にたずねよ」という彼の切腹にまつわるドラマが放映された。一五九一年二月、茶人・千利休は、聚楽第内の屋敷に設えた一畳半の茶室で切腹した。妻の宗恩は、利休の胸の奥には長年秘めた想いの人がいるのではないかと、と問いかける。利休は否定するが、確かにいた。彼が十九歳の時に心中しようとしたその美しい韓国・高麗の女の形見である緑釉の香合(こうあわせ)を、利休は肌身離さず持っていた。いわくつきの彼女は利休と捕縛を逃れるために逃亡するが、逃げ切れず先に自害する。後を追った利休は死にきれず、罪ほろぼしのつもりなのか香合を手取る。それは利休の生涯忘れられない代物となった。利休切腹の時の無垢の浅黄色の袴の懐に、それが入っていた。宗恩は、その香合を手に取り、それを何度も庭に投げつけようとするが…。

松平容保は孝明天皇からのお褒めと感謝の言葉を、自分の生涯でもっとも大切な宝として後生大事にしていた。それは自分のような一介の親藩の藩主に対して、あまりにももったいないお言葉としてお受けしたからに他ならない。

利休にしても高麗の女性との思い出が、あまりにも鮮烈だったので、生涯、その儚く消えた思い出を忘れまいとして、彼女との唯一の形見の香合を懐にしまっていた。それこそが彼の探究してきた「美」そのものだったのかも…。

だが考えてもみよ、私たちは天皇や恋人どころではない、唯一の救い主なる神から直接の愛のお言葉を頂いている。「神がまずわたしを愛してくださいました」(1ヨハネ四・19)とあるではないか。それはもったいない、という言葉を通り越して、仰天するばかりの恵みである。これを私たちは本来、肌身離さずに、心からの感謝を持って保持しているべきである。容保や利休のように！

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

